

- 1 研究題目
植込み型デバイスの実態調査

- 2 研究の対象
岡山大学病院及び他施設における植込み型デバイスを受けた患者、また植込み型デバイスが適用となる冠動脈疾患の患者

- 3 研究目的
岡山大学病院及び他施設での植込み型デバイスの実態を共有し、海外の大規模臨床試験と比較することで、今後の不整脈治療に役立つ情報が得られることが期待される。
遠隔モニタリングで送信されてきたデータの解析をもとに、不整脈イベント、バッテリー、各種リードパラメータなどを患者背景に基づき解析する。
上記研究については、平成30年7月20日整理番号18-6及び令和2年3月29日整理番号19-18で承認された研究で、この度研究実施計画書等の変更による倫理審査を行った研究である。

- 4 研究期間
2009年12月15日～2027年3月31日

- 5 研究に用いる試料・情報の種類
診療録から、下記既存の情報を取得する。
病歴書（医師用）、血液検査（末梢血、生化学）、画像診断（X線、CT、MRI、植込み型デバイス植込み術レポート）、生理学検査（心電図、心エコー）、手術の記録（術者用）、病理学検査（細胞、組織）、感染症検査（細菌）

- 6 研究責任者
循環器内科：山田 大介